

(第四面)

① 項番 30

② 受付番号 受付年月日 届出時の登録番号

③ 事務所の別 1. 主たる事務所 2. 従たる事務所 \* 事務所コード

④ 事務所の名称

⑤ 33

◎ 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者に関する事項

変更区分  1. 就退任  2. 氏名

変更後 変更年月日(⑥) フリガナ(⑦) 氏名(⑦) 生年月日

変更前 変更年月日 フリガナ 氏名 生年月日

確認欄 \*

◎ 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者に関する事項

変更区分  1. 就退任  2. 氏名

変更後 変更年月日 フリガナ 氏名 生年月日

変更前 変更年月日 フリガナ 氏名 生年月日

確認欄 \*

- ① 第四面は、項番30の事務所ごとに作成すること。
- ② 届出者は、\*印の欄には記入しないこと。
- ③ 「事務所の別」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ④ 項番30の「事務所の別」及び「事務所の名称」の欄は、その変更の有無にかかわらず、変更前の「事務所の別」及び「事務所の名称」を記入すること。ただし、事務所を新設した場合は、当該事務所の「事務所の別」及び「事務所の名称」を記入すること。
- ⑤ 項番33の届出は、次の区分に応じ、それぞれ当該区分に定めるところにより、項番30の事務所ごとに作成すること。  
 ア 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者に交代があった場合  
 「変更区分」の欄に「1」を記入するとともに、「変更後」の欄及び「変更前」の欄の両方に記載すること。  
 イ 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者に新たな者を追加した場合  
 「変更区分」の欄に「1」を記入するとともに、「変更後」の欄にのみ記載すること。  
 ウ 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者を削減した場合  
 「変更区分」の欄に「1」を記入するとともに、「変更前」の欄にのみ記載すること。  
 エ 事務所ごとに置かれる第7条に規定する者の氏名に変更があった場合  
 「変更区分」の欄に「2」を記入するとともに、「変更後」の欄及び「変更前」の欄の両方に記載すること。
- ⑥ 「変更年月日」及び「生年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例) S 5 0 年 0 1 月 0 1 日  
 [昭和60年1月1日の場合]

M	明治	S	昭和	R	令和
T	大正	H	平成		

- ⑦ 氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで、姓と名の間に1文字分空けて左詰で記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。